

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



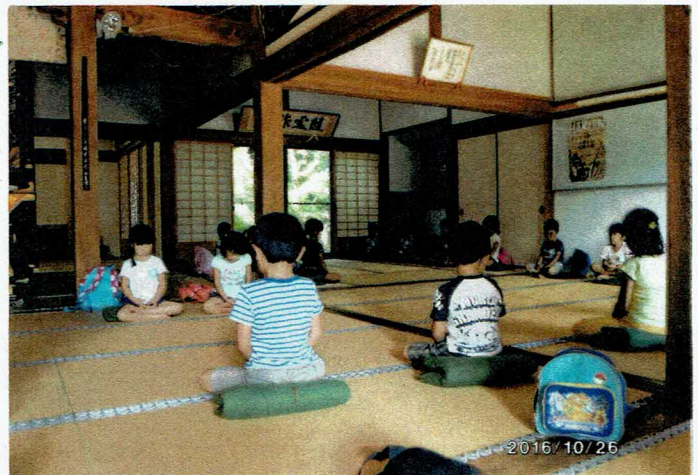
毎年あたご保育園
 では二回座禅を年長組
 が行なっております。
 子供達になぜ座禅を進め
 ているかと言いますと。
 大きなお寺さんの本堂の中で
 静かにチーンカーンと鐘の音
 を聞くだけで心がピリとする。
 静寂の中で何かを考える時間を
 消して考えず、ただタタキを見て
 無気になる。

坐
 禅
 組
 み
 ました。

洞光院

平成28年10月26日晴

▲洞光院の本堂前で全員集合
 あたご保育園年長組



心を休めることが大切。



▲大鼓の音の響が心にとり波動を伝える。

毎朝、両手を
 合わせ。

両手を合わせるのは、単なる
 形式的な決まり事にはあり
 ません。きちんとした意味が
 あるのです。
 若年相争の心です。そして
 左年は自分の心、それを合わ
 せることは相争と心をひと
 つにするということなのです。
 ゆくり、季節を感じ
 ながら歩く
 秋らしいことは、心にとり
 くることです。
 秋は静かな心で、ほおゆつたりと
 した時間を持つ。心を癒え、
 しほやかならして行くため
 には、そのことが不可欠です。

▲洞光院の庭園を枯山水の美しさは心を癒す。



▲坐禅が終了後にお茶とお菓子を